

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

お客様や地域社会の皆様が生涯を通じて豊かで充実した生活を送ることができるように
お手伝いする事業者になること

② 中長期の経営戦略

1. 上場持株会社体制の強化

事業ポートフォリオの機動的見直し、スタンダード市場上場企業としてのガバナンス強化。コーポレートガバナンスコード、CSR、ESG、SDGsも意識した経営

3. 互助会事業の戦略転換

オンライン相談、予約システム、メンバーズアプリ、相談サロン設置で顧客基盤拡大。互助会会員の充実した生活実現を重点に展開

2. ビジネスモデルの再構築

ホテル・ブライダル事業は付加価値向上と黒字化、式典事業はブランド再構築、介護事業はサービス体制強化とシニアライフ支援に拡大

4. 新規事業の積極展開

2020年2月に高尾山観光開発株式会社（東京霊園管理運営）を子会社化。2019年11月に株式会社スキル（ハウスクリーニング）を子会社化し既存事業とシナジー

③ 対処すべき課題

① 経営環境の激変対応

- ・ 少子高齢化と人口減少への対応が必須
- ・ 産業構造の大転換（第4次産業革命）への対応
- ・ 従来の人生設計モデルの崩壊への対応

② 事業採算性の確保

- ・ ホテル・ブライダル事業の黒字化実現
- ・ セグメント毎の採算と効率重視管理
- ・ 施設・拠点毎のきめ細かい損益管理

③ 人材確保と育成強化

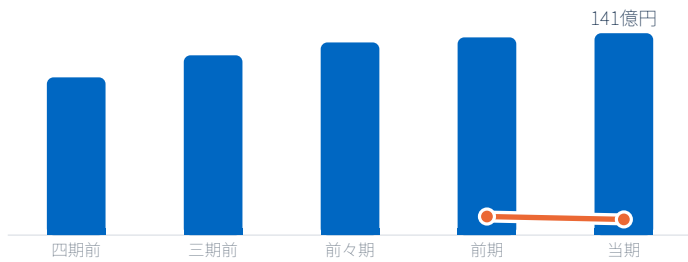
- ・ 働き手の減少が重大な懸念材料
- ・ 専門性の高い人材採用・登用の円滑化
- ・ 成果主義型報酬制度への転換で職員モチベーション向上

面接で使えるポイント

- ・ 社訓『お客様のために役立つ』『信頼される』『力強く発展』の三つを実践する企業文化を持つ
- ・ 2018年10月の持株会社化以降、M&AやDXで事業を積極展開し新規事業も取り込む成長姿勢
- ・ 少子高齢化・人口減少という経営環境の激変に対し、ビジネスモデル再構築と人事制度改革で対応する危機意識と行動力

証券コード 7040

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
141億円

営業利益率
7.8%

財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 34.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
524万円

サービス業内 355位/524社

平均年齢
39.6歳

サービス業内 222位/527社

平均勤続
8.6年

サービス業内 185位/527社

女性管理職
18.2%

サービス業内 200位/371社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: サン・ライフホールディング[7040]: 剰余金の配当に関する

